

科目名	数学A	単位数	2単位	学科・学年	全科 Aコース 3年
使用教科書	最新数学A	数研出版	副教材等	Study-Upノート 数学A	数研出版
学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動に関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて、事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
学習評価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。				
	① 知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
	② 思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
	③ 主体的に学習に取り組む態度	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
	 <i>Descartes</i>	評価方法\観点	①	②	③
	学習状況観察	○	○	◎	学習態度や状況を観察
	課題提出	◎	◎	◎	副教材、プリント等
	ペーパーテスト	◎	◎	○	小テスト、定期考査
履修上の注意	<p>数学の学習はピラミッド型で積み上げ式になっており、基礎学力を身につけ、前時までの内容が十分に理解できていないと、次の授業の内容は理解しにくくなります。教科書もそのような主旨で編成されていますので、毎日の予習・復習を必ずする必要があります。</p> <p>その観点から、数学Aの内容は、比較的数学Iが苦手な生徒も十分に理解できる内容になっています。</p>				

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）	
1	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	13	<ul style="list-style-type: none"> 集合の意味や用語を理解すること。 部分集合、共通部分、和集合、全体集合と補集合など、集合間の関係を理解すること。 ド・モルガンの法則を理解し、それを用いて集合の要素の個数が求められるようにすること。 もれなく重複なく数え上げるための工夫として、樹形図などを理解すること。 数え上げの基本である「和の法則」「積の法則」を理解し、それらを活用できるようにすること。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト	
	5		11	<ul style="list-style-type: none"> 順序をつけて並べる並べ方の総数について理解すること。 重複順列、円順列の総数を求める考え方について理解すること。 組合せの総数を求める考え方について理解し、総数を求め、それらを活用できるようにすること。 		学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト
	6	第2節 確率	7	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味について理解すること。 事象を、集合を用いて表すことができるようにし、根元事象が同様に確からしい場合の確率の計算ができるようにすること。 確率の基本的な性質や確率の加法定理、和事象の確率について理解し、やや複雑な事象の確率が求められるようにすること。 余事象の考えを用いて確率を求めることができるようにすること。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト	
2	9	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	12	<ul style="list-style-type: none"> 独立な試行について理解し、2つの独立な試行における事象がともに起こる確率が求められるようにすること。 反復試行の確率が求められるようにすること。 条件つき確率の概念を理解し、具体的な場面で活用できるようにすること。 確率の乗法定理を理解し、活用できるようにすること。 		学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト
	10		14	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分、外分について理解すること。 平行線と線分の比について理解すること。 三角形の角の二等分線の性質について理解すること。 三角形の重心・外心・内心と、その性質を理解すること。 チェバの定理・メネラウスの定理について理解すること。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト	
3	11		12	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分、外分について理解すること。 平行線と線分の比について理解すること。 三角形の角の二等分線の性質について理解すること。 三角形の重心・外心・内心と、その性質を理解すること。 チェバの定理・メネラウスの定理について理解すること。 		学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト
	12		20	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の定理とその逆について確認すること。 円に内接する四角形の性質や、四角形が円に内接する条件について理解し、それらを活用できるようにすること。 円外の点から円に引いた2本の接線の長さについて理解すること。 円の接線とその接点を通る弦がつくる角と円周角との関係を理解し、それらを活用できるようにすること。 方べきの定理について理解し、それを用いることができるようにすること。 2つの円の位置関係や、共通接線について理解すること。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 学年末テスト	
	1		2	3		

